




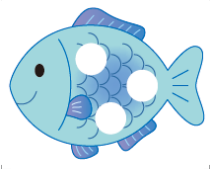
1歳児クラス 1月 第3回 「にじいろの さかな」

保…保育士 講…講師 ★…保育士が準備する教材

シアタータイム

読み方	<ul style="list-style-type: none"> キラキラ光るきれいな「にじうお」に注目する。 ほかの魚とどこが違うか（色の違いに気づく）、どうしてほかの魚に嫌われてしまったのか、子どもたちに問いかけてみる。 「にじうお」の感情の変化が感じられるように読み進める。 	教材	
	<ul style="list-style-type: none"> ★絵本 ★iPad(シアターセット) ペープサート(にじうお) うろこ 	保育士の役割	
導入	<ul style="list-style-type: none"> 保:「スイスイ～こんにちは」ペープサートと絵本を持って登場。 講:「わーっ、虹みたいに綺麗なうろこ！」と綺麗に光るうろこに注目して会話する。 保:「良かったら一枚どうぞ」とうろこを1枚外して渡す。「良かったらこの本読んでください」と絵本を渡して去っていく。 講:うろこと絵本を大切に受け取り、興味をかきたててお話に入る。 	<ul style="list-style-type: none"> ペープサートと絵本を持って登場。 子どもたちと一緒に話をお話を楽しむ 	 

がくしゅうタイム

活動①	ねらい	製作	お話に出てきた「にじうお」に興味を持ち、シールを貼って完成させることができる	
設問	キラキラ光るきれいな「にじうお」にしましょう。			
内容	<ul style="list-style-type: none"> 講:「にじうおさん仲間ができて嬉しかったんだね…思いのこもったこのうろこ大切にしなくちゃね」 保:「すいすい～♪おっとと（バランス崩す様な姿）こんにちはー」と封筒を手に付け、泳ぐように登場。 	教材		
	<ul style="list-style-type: none"> 保:「さっきは絵本を読んでくれてありがとう」 講:「にじうおさん？こんにちは」 保:「今日は仲間を連れてきたんだ。みんなで楽しく泳ごうって思って」と配布用封筒を提示。「すいすい♪～おっとと」とつまずかせながら講師、そして子どもたちへと配布していく。 講:封筒に手を入れ、泳がせるところを見本で见せる。 子:見本同様、封筒に手を入れてみる。 講:子どもたちとしばらく一緒に魚を動かしたあと 「にじうおさん、何か寂しいね、うまく泳げないね」「そうだいいこと考えた！みんなで助けてあげよう」と提案。 「にじうおさんの無くなったうろこいくつある？（無くなった白い○部分確認）みんなで数えてみよう」 	保育士の役割		
活動内容	<p>数にチャレンジ</p> <ul style="list-style-type: none"> 子:講師と一緒に○確認し一つずつ指さしながら「1・2・3。全部で3」と声を出して数えていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 魚付き封筒提示 シール提示、配布 必要に応じて個別フォロー 皿の配備、回収 賞賛 		
	<ul style="list-style-type: none"> 保:「これ使ってください」とキラキラシール提示。 講:「ありがとう」と受け取り見本提示。うろこ同様シールの数を数え、同じ「3こ」であることを確認して、シールを大切に一枚一枚貼っていく。 保:「みんなの分もありますよ」ときらきらシール配布。 講:「シールいくつある？うろこと同じ3こあるか数えてみよう」 子:講師と一緒に再び指さし確認しながらシールの数を数える。「3こ」を確認したらシールをさかなの○に貼っていく。（シールのゴミは皿の中） 講:「うろこがキラキラ光って、嬉しそうだね。みんなのにじうおさんも見せて」と全員で見せっこ。 子:シールを貼った「にじうお」に達成感を感じながら手に付けて掲げて見せる。 講:綺麗に貼れたことを賞賛して、手に付けたまま活動②へと進める。 			

活動②	リズム	魚を手付けて、リズムに合わせて楽しく踊ることができる。	
設問	魚を手付けて楽しく踊りましょう。		活動①と同じ
手	<ul style="list-style-type: none"> 講：「こんどは上手に泳げるかな？みんなで泳いでみようか」うろこを光らせながら泳がせてみる。 		教材
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 子：講師同様光るうろこを確認するように泳がせてみる。 講：環境を整え、椅子から立ち、お部屋の中を音楽に合わせて泳いでみる。また「素敵なにじうおさんを〇〇先生（〇〇くみさん）に見せてあげようか」などと言いながら移動して頑張ったことを報告し、褒めてもらうのも達成感や自信に繋がる。最後にお部屋に再び集合して手遊び「♪さかながはねて」（0歳8月にある音源を使っても良い）に合わせてみんなで楽しく踊る。 講：「にじうおさん楽しかったって。みんなも楽しかったね！」と賞賛。「なんだかいっぱい動いて眠くなつたみたい」と手から外して「おやすみなさい」と保育士の掌の上に乗せる見本行動。（静と動、メリハリをつける） 子：「おやすみ」と声掛けながら子どもたちも同様に保育士の掌の上に乗せていく。 保：にじうおを静かに回収 講：楽しく動いた後の余韻も楽しみながら終了する。 		<ul style="list-style-type: none"> 活動①で完成した魚 ※一校2セット送った先生用の魚も完成させて保育士用とする 保育士の役割 <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちと一緒に なつてにじうおを泳がせて楽しむ エレピ演奏 完全への配慮 賞賛 さかなの回収

数子ヤレ	数	「3こ」の〇を指さしながら数えることができる	教材
設問	魚の無くなったうろこの数を数えましょう。		
活動内容	※＜活動①＞の中で実施します。（チャレンジ課題）		保育士の役割